

国土緑化推進機構：出前講座 報告

作成 2011 年 7 月 11 日 清水 環

1. 開催場所 : 県民の森（ふれあいの館）
2. 開催日 : 2011 年 7 月 2 日（土）午前 9 : 00～15 : 00
講師 : 寺川 裕子氏
＜特定非営利活動法人 里山倶楽部 理事／事務局＞
講座参加者：櫻井、清水、蒲田、大石、岡島、
高崎、瀧口、裏川、松永、瀧口



3. 内容

◆ 主旨説明、自己紹介

◆ 話し方、伝え方ワークショップ

～グッドコミュニケーションのための一工夫～

話し方、伝え方で困っていることについてのブレインストーミング（参加者が提示）

まず参加者同士で解決策提示 →

- ・ 予習する
- ・ 項目と順番を覚えておく
- ・ 大きな声を出して練習する
- ・ メモを作っておく
- ・ 雑学でやわらかくする

- ・ 緊張して頭が真っ白になる
- ・ 思いが伝わらない
- ・ 説明の不足、過剰
- ・ 表現が見つからない
- ・ 反応がないとつらい
- ・ 危険なとき言葉が荒くなる

← ファシリテータである寺川さんの誘導

いくつものアイスブレイク（緊張の氷解）を重用する。

- ・ 開始前に雑談で打ち解ける
- ・ マイクを使わない
- ・ 笑顔
- ・ わざと動き回る
- ・ やりとり
- ・ 参加者に積極的に近づく
- ・ 室温、休憩など生理的欲求に注意

例：自己紹介

自己紹介を敢えて書いてもらう。

大勢でなく前後左右に自己紹介。

- ・ 書いた物を読むことは、いきなり口頭で自己紹介するより緊張を減らす
- ・ 口を開く → 表情や気持ちの硬さをとる
- ・ 「知り合い」ができる → 本題に入る前に打ち解けられる
- ・ 先に信頼を構築しておけば、後の意見の相違も受け入れやすい
- ・ 聞き手の緊張を解いておくことは話し手の緊張も解く

◆ 企画作りワークショップ

- ・ やってみたい企画のアイデア出し（KJ法）

- | | |
|------------|--------------|
| ・ 資金集め | ・ 路網整備の勉強 |
| ・ 新会員に技術訓練 | ・ 鹿の公園 |
| ・ 搬出勉強会 | ・ 水源の森観察会 |
| ・ 竹林整備 | ・ 連続炭火給湯システム |
| | ・ 認定NPOになる |



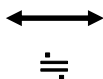
- ・ 企画シートを作成する

アイデアを具体化（実現性）
助成金申請書も書けるくらいに

◆ 講習：そもそもNPOってなに？

ボランティア（volunteer）

- ・ もともとの意味は「志願兵」
- ・ 自発性、無償性、利他性、先駆性
- ・ お金をもらわなくても自発的に動く
 - 報酬を前提として動くのではない
 - お金をもらってもボランティアでありうる



NPO（NonProfit Organization）

- ・ NPO＝宗教法人、学校法人、農協も
- ・ NPO 法人＝「特定非営利活動促進法」で認証された法人
 - 構成員への利益分配は法律違反（「給料」「報酬」は利益分配ではなく「経費」）
 - 利益が出たら活動に再投資する

◆ NPOにおける「収益事業」ってなに？

- ・ NPO法人が収益事業を行ってもかまわない
- ・ NPO法人でも法人税は課される
- ・ 「法人税法」上の収益事業 ≠ 「特定非営利活動促進法」上の収益事業（＝その他の事業）

◆ NPO法人の運営において今後注目すべき動き

- ・ 「特定非営利活動促進法」の改正
- ・ 新寄付税制
- ・ NPO法人会計基準

運営に有用な ウェブサイト

- ・ NPOWEB
- ・ NPO法人シーズ
- 「なんでも質問箱」

— 以上 —

メンバーの望むこと、森林の風の課題がここに。

講座終了後の寺川さんの感想

～第3者から見た森林の風～

- ・ 資金に恵まれている
- ・ フィールドに恵まれている
- ・ 人材豊か
- ・ 熱心で前向き

だからこそめめることもあるが、
NPO法人は全員平等な立場
議論することで公正な発展

今後が楽しみ！

